



ソピアとはギリシア語で「知恵」という意味であり、本校の校歌の歌詞にある言葉です。



# 「ソピア（知恵）の旗」だより

2021・10月 NO. 5

## 3年生「総合的な探究の時間」発表会



本校では、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の指定を受け、地域との協働活動や探究的な活動を推進するための効果的なカリキュラム開発を行っています。

9月21日(火)、3年生で行っている「総合的な探究の時間」で黒潮町をテーマとした課題解決学習活動の発表会を行いました。発表はオンラインにて配信しました。

以下のテーマで、課題解決に向けた取組を自分たちの言葉で発表することができました。

「人口減少していく中でできること」

「地域で子育てを支える町」

「防災意識を高めるために自分たちにできること」

「黒潮町を子育て世代と高齢者が共に助け合える町に」

「移住者を増やすためにできること」

「無駄のない黒潮町に」

## 交流授業を実施

10月1日(金)、大方中学校2年生に来校していただき、交流授業を行い、「未来へのメモワール」について考えてもらいました(「未来へのメモワール」とは、自分が未来へ残しておきたいもの考える活動です)。



未来へ残したいもの考えることで、防災意識の高まりとともに、日頃からの感謝の気持ちを大切にできればよいと思います。



また、10月4日(月)には、佐賀中学校2年生に来校していただき、本校「オリジナル HUG」の実践による交流授業をしました。

本校生徒からは「中学生と被災後の避難所運営について考えてみて、想像できることが増えた」といった感想がありました。

## 笑顔あふれた令和3年度体育祭

10月15日(金)、「2021 夏をカケル ～走り出せ大方のプリティダービー～」をテーマに体育祭が行われました。

コロナ禍により様々な行事が中止となりましたが、感染状況を見ながら、対策を徹底して時間短縮等なく実施しました。一生懸命、走る、跳ぶ、水面を滑る姿に感動しました。久しぶりの笑顔をたくさん見ることができて本当に良かったです。



## 社会人の方にインタビュー

10月19日(火)、総合的な探究の時間にて、ケースの読み込みやインタビューを通して、社会人としての生き方を学び今後の生活に生かしていく「ケーススタディ」のインタビューに1年生が取り組みました。



講師として、土佐佐賀産直出荷組合 濱町明恵様に来校していただき、サニーフーズ 出水佐知様にオンラインで参加していただきました。お二方へのインタビューを通して、『仕事への思い』や『高校生の今、将来のためにできることは何か』などを学ぶことができました。他者から学んだことを自身の人生に生かしてほしいと思います。

## 全国の高校生とオンラインで交流

10月22日(金)・23日(土)、全国高等学校小規模校サミットがオンラインで行われました。主催は山形県立小国高等学校で参加校23校、191名の高校生が交流をしました。



学校紹介では本校の防災を中心とした取組を報告し、ワークショップやグループ討議でたくさん他県の高校生と交流することができました。生徒は「緊張したけどすごく楽しい」と話していました。

## 防災グッズづくりに挑戦



10月20日(水)、ライフセービングの受講生が、学校にある物で防災グッズを作成しました。各班で情報を収集し考えを出し合い、実用的かつ簡単に作れる防災グッズを作成することができたと思います。

## 防災植物を学ぶ

10月27日(水)、ライフセービングの受講生が、日本防災植物協会事



務局長 斉藤香織さんを講師に招いて防災植物について学習しました。校内にある色々な植物を食して身近にある非常食の存在を実感していました。日頃から、自分たちが生活する自然環境にも目を向けて防災意識を高めてほしいです。



## 全員で避難所運営訓練

10月28日(木)、大方高校防災 DAY として、避難してくる人と運営する人に分かれて避難所運営訓練を行いました。



シェルパーテント設置や、密にならない炊き出しなど、想定される様々な活動を運営しました。生徒も先生も対応におおわらわでしたが、たくさんの課題の発見や生徒の成長が見られました!



大方高校公式インスタグラム

[https://www.instagram.com/ogatahighschool\\_official/](https://www.instagram.com/ogatahighschool_official/)

